

製品名: TPSAB1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82945**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	30.5kDa

抗原情報

遺伝子名	TPSAB1
別名	TPS1; TPS2; TPSB1; TPSB2; Tryptase-2
遺伝子 ID	7177.0
SwissProt ID	Q15661
免疫原	大腸菌で発現したヒト TPSAB1 (AA: 31-275) の精製された組み換え断片。

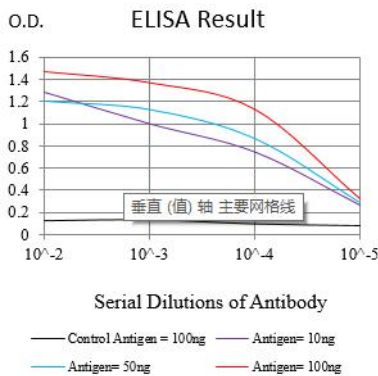
背景

トリプターゼは、トリプシン様セリンプロテアーゼファミリーであるペプチダーゼファミリー S1 を構成する。トリプターゼはヘパリン安定化テトラマーとしてのみ酵素活性を示し、既知のすべての内因性プロテアーゼ阻害剤に耐性を示す。複数のトリプターゼ遺伝

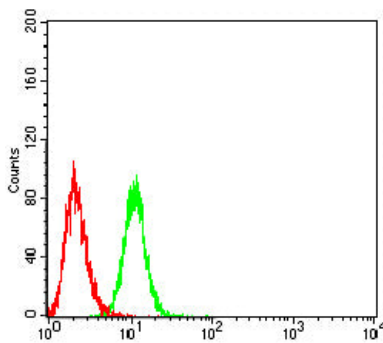
子が染色体 16p13.3 に密集している。これらの遺伝子は、いくつかの異なる特徴によって特徴付けられる。高度に保存された 3' UTR を有し、5' 隣接部と 3' UTR にタンDEMリピート配列を含み、これが mRNA の安定性制御に関与していると考えられる。これらの遺伝子は、転写開始部位とタンパク質コード配列を分離する開始 Met コドンのすぐ上流にイントロンを有する。この特徴はトリプターゼに特有のものであり、他の遺伝子では珍しい。この遺伝子の対立遺伝子は異常なほどの配列変異を示し、かつては α 遺伝子と $\beta 1$ 遺伝子という 2 つの別々の遺伝子を表すと考えられていました。肥満細胞では β トリプターゼが主要なアイソザイムとして発現しているようですが、好塩基球では α トリプターゼが優勢です。トリプターゼは、喘息やその他のアレルギー性疾患、炎症性疾患の病態形成におけるメディエーターとして関与していることが示唆されています。

研究分野

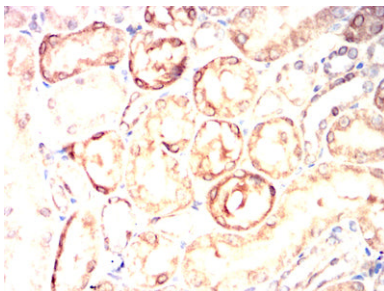
画像データ



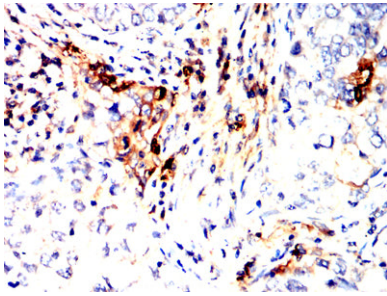
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



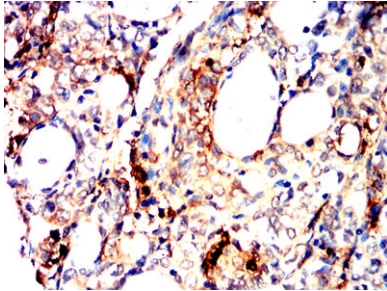
TPSAB1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



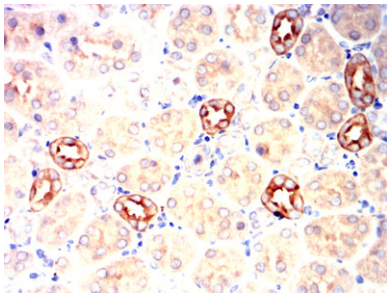
DAB 染色による TPSAB1 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ラット腎臓組織の免疫組織化学分析。



TPSAB1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。



TPSAB1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



TPSAB1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ウサギ腎臓組織の免疫組織化学分析。